

令和5年度第1回市民意識調査票

「市民意識調査」へのご協力のお願い

～あなたの声をまちづくりに～

日頃から、札幌市政にご協力いただき、誠にありがとうございます。

札幌市では、市民の皆さまのお考えやご要望を市政に反映させるために、札幌市民5千人の方々にご回答をお願いする調査を実施しております。

突然のお願いで恐縮ではございますが、趣旨をご理解いただき、ご回答くださいますようお願いいたします。

● あなたにお願いしたいこと

「市民意識調査票」にご記入のうえ、同封の返信用封筒に入れて返送してください。

● 5千人の選び方

18歳以上の市民の皆さまの中から、無作為抽出法（くじ引きのような方法）で選ばせていただきました。

● 今回お送りしたもの

市民意識調査票、返信用封筒、チラシ（※）

（※ チラシはPR用で市民意識調査とは関係ありません。）

● プライバシーの保護について

この調査は、皆さまから無記名でご回答いただくものであり、また、回答結果は統計的に処理し、「こういうご意見が何%」というように数値、表にまとめますので、個人のお名前が公表されることは、決してございません。

また、調査をお願いした方の名簿は、この調査以外には使用いたしません。

〔ご回答にあたって〕

ご使用いただく筆記用具は、どのようなものでも構いません。

ご回答は、あてはまる番号に○印をつけるか、あるいは具体的な内容をご記入ください。

記入されました市民意識調査票は、折りたたんで同封の返信用封筒に入れ、**無記名のまま切手を貼らずに令和5年7月7日（金）までに、郵便ポストへ投函してください。**

ご不明な点やお問い合わせは

札幌市総務局広報部市民の声を聞く課

担当 葛西 ☎ 011-211-2045 まで

<市民意識調査に関するよくある質問（FAQ）>

https://www.city.sapporo.jp/somu/shiminokoe/citi_enq/faq.html



テーマ1 札幌市民の自転車利用について

札幌市では、交知道徳の向上と交通環境の改善を図るために市民運動を展開し、札幌市を明るく快適な交通安全都市とすることを目的として様々な活動を実施しております。

そこで、皆さまの自転車利用の状況をお伺いし、今後の活動の参考とさせていただきます。

問1 自転車利用時の交通ルールについてお聞きします。以下に示した正しいルールのうち、あなたが知っていたものにいくつでも○をつけてください。

- 1 原則として自転車は車道の左側を走る
- 2 自転車で歩道を走る時は歩道の車道側を走る
- 3 自転車で歩道を走る時は歩行者が優先
- 4 自転車で歩道を走る際に自転車が歩行者の妨げになりそうな時は一時停止する
- 5 全年齢の自転車利用者が自転車乗車用ヘルメット（以下「ヘルメット」という）の着用に努めなければならない

問2 あなたが自転車を利用する頻度はどのくらいですか。夏期(4月～10月)の状況について、あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- | | | |
|---------|---------------|-----------------------------|
| 1 ほぼ毎日 | 2 週3～4日 | } ⇒ 問3 ~ 問7 へ |
| 3 週1～2日 | 4 週1回未満 | |
| 5 利用しない | ⇒ 問8 へ | |

《**問2**で「1～4」のいずれかに○をつけた方にお聞きします。》

問3 あなたの自転車の利用目的について、あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- | | | | |
|-----------|------|-------|---------|
| 1 通勤 | 2 通学 | 3 買い物 | 4 仕事・業務 |
| 5 通院 | 6 送迎 | 7 習い事 | 8 レジャー |
| 9 その他 () | | | |

問4 あなたの自転車利用時の様子について、あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

ア あなたが自転車利用時に、原則として走行する場所

- | | | |
|------|------|-----------|
| 1 車道 | 2 歩道 | 3 その他 () |
|------|------|-----------|

イ あなたが自転車で車道を走る時の走行位置

- | | | |
|---------------|---------------|-----------|
| 1 左側 (自動車と並走) | 2 右側 (自動車と対面) | 3 その他 () |
|---------------|---------------|-----------|

ウ あなたが自転車で歩道を走る時の走行位置

- | | | |
|-----------|----------|-----------|
| 1 車道から遠い側 | 2 車道に近い側 | 3 その他 () |
|-----------|----------|-----------|

エ あなたが自転車で歩道を走る時のスピード

- | | | |
|---------|---------|-----------|
| 1 抑えて走行 | 2 いつも通り | 3 その他 () |
|---------|---------|-----------|

問5 あなたは、自転車の利用中に歩行者と接触したり、接触しそうになったことがありますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- | | |
|------|------|
| 1 ある | 2 ない |
|------|------|

問6 あなたは自転車損害賠償保険(他の保険に付帯されているものも含む)に加入していますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- | | | |
|----------|-----------|---------|
| 1 加入している | 2 加入していない | 3 わからない |
|----------|-----------|---------|

問7 あなたは、自転車の利用時にヘルメットを着用していますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- | | |
|-----------|-----------------|
| 1 着用している | ⇒ 問7-1 へ |
| 2 着用していない | ⇒ 問7-2 へ |

《**問7**で「1 着用している」と答えた方にお聞きします。》

問7-1 あなたがヘルメットを着用している理由としてあてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1 交通事故の被害を軽減させるため | 2 着用が努力義務化されたため |
| 3 テレビや新聞で話題になったため | 4 学校・会社等から指示されたため |
| 5 子どもの見本になるため | 6 なんとなく |
| 7 その他 () | |

《**問7**で「2 着用していない」と答えた方にお聞きします。》

問7-2 あなたがヘルメットを着用していない理由としてあてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- | | |
|------------------|---------------------|
| 1 必要性を感じないため | 2 販売価格が高いため |
| 3 頭髪が乱れるため | 4 持ち歩くのが面倒なため |
| 5 周りの人が着用していないため | 6 着用の努力義務化を知らなかったため |
| 7 気に入ったデザインがないため | 8 なんとなく |
| 9 その他 () | |

《全員にお聞きします。》

問8 あなたは、札幌市内を走行する自転車利用者は交通ルールを守っていると思いますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- | | | |
|------------|-------------|-------------|
| 1 守っていると思う | 2 守っていないと思う | 3 どちらともいえない |
|------------|-------------|-------------|

問8-1 **問8**の回答理由を教えてください。

--

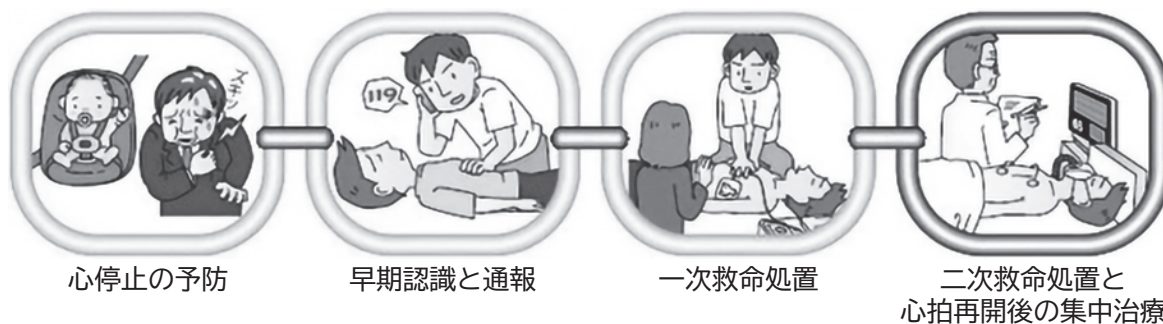
テーマ2 応急手当について

命の危機にひんした方を救命・社会復帰させるために必要な一連の行動を「救命の連鎖」といいます。救命の連鎖をつなぐためには、その場に居合わせた方による応急手当が非常に重要です。

札幌市では、市民向けの応急手当講習の開催や、小学校での体験型授業などを行い、広く市民の皆さまに応急手当に関する正しい知識と技術の普及啓発を行うとともに、応急手当を行う方の不安を解消するための仕組みづくりを検討しています。

そこで、市民の皆さまの応急手当に対する意識をお聞きし、今後の応急手当の普及啓発への取り組みの参考とさせていただきます。

<救命の連鎖>



問9 あなたは、これまでに、どのような方法で応急手当を学んだことがありますか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- 1 小・中学校及び高等学校の授業
- 2 運転免許教習の応急救護講習
- 3 医療・介護・福祉に関する資格取得時
- 4 職場での研修
- 5 消防局が行っている応急手当講習
- 6 日本赤十字社が行っている救急法などの講習
- 7 応急手当WEB講習や関連動画の視聴
- 8 その他 ()
- 9 学んだことはあるが、方法は覚えていない
- 10 学んだことはない

問10 あなたが、これから消防局が行う応急手当講習を受けるとしたら、どのような講習を受けてみたいと思いますか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- 1 救命入門コース (45分間で胸骨圧迫・AEDの使い方を学ぶ短時間講習)
- 2 普通救命講習Ⅰ (成人に対する応急手当を学ぶ3時間の講習)
- 3 普通救命講習Ⅲ (小児・乳幼児に対する応急手当を学ぶ3時間の講習)
- 4 応急手当WEB講習 (パソコンやスマートフォンなどで動画を見ながら学べるコンテンツ)
- 5 ZOOMなどのWEB会議システムをつかった非対面式の講習
- 6 その他 ()
- 7 特に受けたい講習はない

問 1 1 あなたは、外出先などの自宅外において応急手当が必要な場面に居合わせたときに、胸骨圧迫（心臓マッサージ）や、AEDを使った応急手当ができると思いますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- 1 できると思う
- 2 たぶんできると思う
- 3 たぶんできないと思う
- 4 できないと思う
- 5 わからない

問 1 2 あなたが、応急手当をしようとするときに、不安なことや心配に思うことは何ですか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- 1 知識や技術が足りないこと
- 2 他人に手を触れたくない・こわい
- 3 やり方を間違えて症状を悪化させないか心配
- 4 責任を問われそうで不安
- 5 接触による感染が心配
- 6 ストレスで自分の体調を崩さないか不安
- 7 周りの注目を集めること
- 8 その他 ()
- 9 特にない

問 1 3 あなたが、応急手当をしようとする際、受けたいと思うサポートは何ですか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- 1 119番通報時に、消防職員から応急手当の方法を口頭で教えること
- 2 119番通報時に、消防職員から近くにあるAEDの場所を口頭で教えること
- 3 応急手当に関わったことで起きた心身の不調を相談できる体制があること
- 4 接触による感染が不安なときに、検査を受けられる体制があること
- 5 その他 ()
- 6 特にない

テーマ3 札幌市立大学について

札幌市立大学は、2006年に札幌市立高等専門学校と札幌市立高等看護学院を前身として創設されました。中央区と南区にキャンパスを有し、デザインと看護の2学部2研究科による専門教育と連携の推進、2022年度にはAITセンター設置による、AI・ITを活用した研究も行っています。

問14 あなたは、「札幌市立大学」を知っていますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- 1 知っている ⇒ **問14-1**、**問14-2**、**問14-3** へ
2 知らない ⇒ **問15** へ

《**問14**で「1 知っている」と答えた方にお聞きます。》

問14-1 あなたは、札幌市立大学についてどんなことを知っていますか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- 1 公立大学であること
2 看護学部があること
3 デザイン学部があること
4 デザイン学部と看護学部の連携教育に力を入れていること
5 大学院があること
6 AI・ITに関する研究を行う機関(AITセンター)があること
7 名前は知っているが詳しくは知らない
8 その他 ()

問14-2 あなたは、札幌市立大学のことをどのようなことを通じて知りましたか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- 1 テレビ
2 新聞
3 ラジオ
4 インターネット
5 SNS (※)
6 広報さっぽろ
7 家族や友人、知人
8 市立大学の学生
9 市立大学の教員
10 公開講座
11 学校祭
12 パンフレット
13 その他 ()
14 わからない

※ Twitter、Facebook、LINEなどのソーシャル・ネットワーク・サービスのこと

問14-3 あなたは、札幌市立大学が以下のような地域貢献に取り組んでいることを知っていますか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- 1 円山動物園等の施設設計や、ワークショップの開催などの協力
2 AI・ITを活用した行政の効率化に関する研究協力
3 市民が自由に参加できる公開講座の実施
4 イベントや施設等のポスター、ロゴマーク、キャラクターなどの作成への協力
5 札幌市等が開催する審議会等に委員として参画して行く、まちづくり等への協力
6 その他 ()
7 知っていることはない

《皆さまにお聞きます。》

問 1 5 あなたは、札幌市立大学がどのような大学であってほしいと思いますか。あてはまるものにもいくつかでも○をつけてください。

- 1 地域の医療、福祉、産業等に必要の人材を育成する大学
- 2 超高齢化や人口減少といった地域課題への対応に取り組む大学
- 3 新しい技術・製品の開発や企業誘致を通じて地域経済に貢献する大学
- 4 市民の実感に結びつく先進的で質の高い研究を行う大学
- 5 全国で活躍する技術者や専門職を育成する大学
- 6 市民が学び直しやスキルアップのために利用できる大学（公開講座等も含む）
- 7 世界で活躍できる人材を育成する大学
- 8 世界最先端の研究が行われる大学
- 9 その他（)
- 10 特にない
- 11 わからない

問 1 6 あなたが、札幌市立大学に期待する活動はありますか。あてはまるものにもいくつかでも○をつけてください。

- 1 医療、福祉と連携した健康増進に向けた取り組み
- 2 企業が必要とする多様な人材の供給
- 3 経済の発展への貢献
- 4 市民が学ぶ機会の提供
- 5 行政と連携した公共事業の効率化の研究
- 6 産業界や行政機関との連携の促進
- 7 その他（)
- 8 特にない
- 9 わからない

問 1 7 札幌市立大学の研究や活動の中で、あなたが関心のある（詳しく知りたいと思う）ものはありますか。あてはまるものにもいくつかでも○をつけてください。

- 1 デザイン学部と看護学部の連携教育
- 2 デザイン学部で行っている教育・研究
- 3 看護学部で行っている教育・研究
- 4 AI・ITに関する研究
- 5 市民が自由に参加できる公開講座やイベント
- 6 企業や研究機関、行政、病院との連携
- 7 その他（)
- 8 特にない
- 9 わからない

テーマ4 健康寿命の延伸について

札幌市では、年齢を重ねても体や心の働き・社会的なつながりが弱くなることなく、「誰もが生涯健康で、学び、自分らしく活躍できる社会の実現」を目指した取り組みを推進しております。そこで、皆さまの健康に関する意識をお聞きし、今後の取り組みの参考とさせていただきます。

問18 あなたは、現在、健康上の問題で日常生活に影響が出ていることがありますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- 1 ある 2 ない 3 わからない

問19 あなたは、ここ1か月の間に、健康上の問題で床についたことや、普段の活動(通勤、通学、家事など)ができなかったことはありますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- 1 ある 2 ない 3 わからない

問20 あなたは、ご自身の現在の健康状態をどのように感じていますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- 1 よい
2 まあよい
3 ふつう
4 あまりよくない
5 よくない

問21 あなたの外出の頻度は、平均すると1週間に何日くらいですか。ここ1年間の夏期と冬期(積雪期)の外出の頻度について、最も近いものに1つずつ○をつけてください。

外出の頻度	外出しない ほとんど	週1日程度	週2日程度	週3日程度	週4日程度	週5日程度	週6日程度	毎日	わからない
ア 夏期	0	1	2	3	4	5	6	7	8
イ 冬期	0	1	2	3	4	5	6	7	8

問22 あなたが外出した日に歩く時間は、平均すると何分くらいですか。ここ1年間の夏期と冬期(積雪期)の外出した日に歩く時間について、最も近いものに1つずつ○をつけてください。

外出した日に 歩く時間	10分未満	10分〜 20分	20分〜 30分	30分〜 40分	40分〜 50分	50分〜 60分	60分〜 70分	70分〜 80分	80分〜 90分	90分以上	わからない
ア 夏期	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
イ 冬期	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10

問23 あなたが外出するときの目的はどんなことですか。ここ1年の間に、1か月に1回以上機会があった外出について、あてはまるものはいくつでも○をつけてください。

- | | | |
|------------|------------|-----------------|
| 1 仕事（通勤） | 2 学校（通学） | 3 ボランティア・PTA活動 |
| 4 町内会・自治会 | 5 飲食（外食） | 6 買い物 |
| 7 通院 | 8 健診・検診 | 9 デイサービス |
| 10 体育館 | 11 図書館 | 12 10・11以外の公共施設 |
| 13 運動・スポーツ | 14 散歩・街歩き | 15 クラブ・サークル活動 |
| 16 習い事・趣味 | 17 レジャー | 18 友人・知人と会う |
| 19 親族との交流 | 20 家族の付き添い | 21 目的はない |
| 22 その他（ | | ） |
| 23 外出はしない | | |

問24 あなたが、ここ1年の間に、同居する家族以外で1週間に1回以上会って話す機会があった相手はどのような方ですか。あてはまるものはいくつでも○をつけてください。

- | | | |
|----------------|------------|-------------|
| 1 親 | 2 子・孫 | 3 祖父母 |
| 4 兄弟姉妹 | 5 子の配偶者 | 6 1～5以外の親族 |
| 7 交際相手・パートナー | 8 友人・知人 | 9 同僚・クラスメイト |
| 10 顧客・取引先 | 11 店員・従業員 | 12 講師・指導員 |
| 13 近所の住人 | 14 主治医・看護師 | 15 介護士・ヘルパー |
| 16 その他（ | | ） |
| 17 そのような相手はいない | | |

問25 あなたは、新型コロナウイルスの感染拡大前と現在を比較して、次に掲げる行動の頻度がどのように変化しましたか。ア～クについて、1つずつ選んで○をつけてください。

	増えた	少し増えた	変わらない	少し減った	減った
ア 通勤や通学	1	2	3	4	5
イ ボランティア活動	1	2	3	4	5
ウ 通院や健診・検診	1	2	3	4	5
エ 運動・スポーツ	1	2	3	4	5
オ 歩く時間や距離	1	2	3	4	5
カ 習い事や趣味活動	1	2	3	4	5
キ 人との交流の機会	1	2	3	4	5
ク 外出の機会	1	2	3	4	5

【健康寿命】

健康寿命とは、「健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間」を言います。

問 2 6 あなたは、適度な運動や人との交流など、「健康寿命の延伸」につながると考えられる取り組みに興味がありますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- 1 興味がある
- 2 少し興味がある
- 3 あまり興味がない
- 4 興味がない
- 5 わからない

問 2 7 あなたは、普段から「健康寿命の延伸」を意識した行動をしていますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- 1 している
- 2 まあしている
- 3 あまりしていない
- 4 していない
- 5 わからない

問 2 8 あなたは、「健康寿命の延伸」につながると考えられる取り組みについて、きっかけや札幌市役所などの行政から何かの働きかけがあれば、行動の回数をさらに増やしたり、新たに始めたりしたいと思いますか。ア～キについて、1つずつ選んで○をつけてください。

	そう思う	少しそう思う	あまり思わない	思わない	わからない
ア ボランティアなど社会貢献活動に参加すること	1	2	3	4	5
イ 定期的に健診や検診を受けること	1	2	3	4	5
ウ 運動・スポーツをすること	1	2	3	4	5
エ 歩くこと	1	2	3	4	5
オ 習い事や趣味活動をすること	1	2	3	4	5
カ 積極的に人と交流すること	1	2	3	4	5
キ 外出すること	1	2	3	4	5

テーマ5 雪対策に関する取り組みについて

札幌市では、安心・安全で持続可能な冬の道路環境の実現に向けて、市民の皆さまや企業などと協働して雪対策に取り組んでいます。そこで、札幌市による道路の除雪作業に関する認識や、市民の皆さまによる取り組みの現状などについてお聞きし、今後の雪対策の参考とさせていただきます。

札幌市では、市内の道道・市道（国道以外）において、道路種別に応じた除雪を行っています。

- 幹線道路：地域と地域を結ぶ、交通量の多い道路
- 生活道路：住宅街の道路

問29 札幌市では、交通量や公共交通の利便性を考え、以下の通り、皆さまにより多く利用される道路・場所の除雪を強化しています。次のうち、あなたが今後最も力を入れてほしいと思う道路・場所はどこですか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- 1 バス路線
- 2 地下鉄・JR駅周辺
- 3 病院・福祉施設周辺
- 4 公共施設周辺
- 5 小学校周辺
- 6 特にない

問30 冬期間の生活道路の状況をより良くするために、以下のうちあなたが最も重視すべきだと思うものは何ですか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- 1 道路の幅
- 2 路面の凸凹や段差、気温の上昇によるザクザク路面
- 3 道路脇の雪山の高さや交差点の見通し
- 4 特にない

札幌市では、幅が2m以上で、地下鉄・JR駅周辺や公共施設周辺などで歩行者が多い歩道の除雪を行っています。

問31 除雪の対象となっている歩道の状況について、以下のうちあなたが最も重視すべきだと思うものは何ですか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- 1 通行幅
- 2 路面の凸凹や段差
- 3 交差点を渡る際の見通し
- 4 つるつる路面
- 5 特にない

札幌市では、札幌管区気象台が発表する大雪警報や暴風雪警報時において、広報媒体を活用し市民の皆さまへの注意喚起を図っています。

問3 2 あなたは、警報発令などの大雪時や大雪が想定されるときにどのような行動をとっていますか。あてはまるものにもいくつでも○をつけてください。

- 1 通勤通学などの外出時に、移動手段を変更している
- 2 通勤通学などの外出時に、出発時間を早めるなど、時間に余裕を持った行動を取っている
- 3 時差出勤、在宅勤務、オンライン授業、電話・オンライン診療などを活用している
- 4 不要不急の車による外出を控えている
- 5 特に普段と違う行動をとっていない

ご自宅前の雪の処理及び除雪ボランティアについてお伺いします。

問3 3 札幌市と町内会等で利用条件などに関する覚書を交わした公園については、ルールを守って雪置き場として利用することができます。あなたは、公園を雪置き場として利用していますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- 1 覚書のルールを守って雪置き場として利用している
- 2 覚書を交わしているかどうかは分からないが、公園を雪置き場として利用している
- 3 公園を雪置き場として利用していない
- 4 除雪をする機会がない

問3 4 あなたは、冬期間に玄関前等に堆積する雪を処理するため、融雪施設等の設置・購入を検討(予定)していますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- | | |
|---------------|---------------------|
| 1 設置・購入済み | } ⇒ 問3 4-1 へ |
| 2 検討(予定)している | |
| 3 検討(予定)していない | ⇒ 問3 5 へ |

《**問3 4** で「1 設置・購入済み」、「2 検討(予定)している」と答えた方にお聞きします。》

問3 4-1 あなたが設置・購入または検討(予定)している融雪施設等について、次の中から、あてはまるものにもいくつでも○をつけてください。

- 1 融雪槽・融雪機
- 2 ロードヒーティング
- 3 小型除雪機
- 4 その他 ()

問3 5 あなたは、昨年度の冬に自宅前の雪を処理するため、民間企業などによる有料除排雪サービス(福祉除雪を除く)を利用しましたか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- | | |
|--------|-----------|
| 1 利用した | 2 利用していない |
|--------|-----------|

問36 札幌市では、市民の皆さまに『除雪ボランティア』への協力を呼び掛けています。以下のうち、あなたがこれまでに取り組んだことがある除雪ボランティアについて、あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- 1 転倒防止のため、つるつる路面に砂袋やペットボトルで滑り止めの砂をまく
- 2 ごみを出しやすいようにごみステーション周りの除雪をする
- 3 福祉除雪の地域協力員に登録し、高齢者宅等の玄関前除雪を行う
- 4 近所で困っている人の除雪を自発的に手伝う
- 5 消火栓周りの除雪を行う
- 6 雪どけ後に、雪置き場として利用した公園の清掃や、滑り止めの砂の回収を行う
- 7 除雪ボランティアに取り組んだことはない

札幌市では、市民の皆さまと協力して快適な冬を過ごせるよう、冬の暮らしのルールに関する情報発信を行っています。

- 敷地内の雪を道路に出してはいけない
- 除雪作業の支障になるため、路上駐車をしてはいけない

問37 あなたは、「敷地内の雪を道路に出してはいけない」というルールを守っていますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- 1 守っている
- 2 守っていない
- 3 除雪をする機会がない

問38 あなたは、「路上駐車をしてはいけない」というルールを守っていますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- 1 守っている
- 2 守っていない
- 3 車を運転する機会がない

問39 昨年度、冬の暮らしに関する情報(札幌市の除雪に関する情報や冬のルール、除雪の出動情報など)を以下のように発信しました。あなたが、見たことがあるものにいくつでも○をつけてください。

- 1 冬の暮らしガイド (広報さっぽろ12月号綴じ込み)
- 2 札幌市公式ホームページ (冬の暮らし・除雪)
- 3 テレビのデータ放送 (HTB、NHK、HBC、UHB)
- 4 札幌市公式SNS (Twitter、LINE)
- 5 札幌市公式YouTube動画 (「札幌市民の皆さまへ大雪時のご協力のご願い」等)
- 6 インターネット・アプリ広告 (Yahooトップページ、LINEアプリ)
- 7 札幌市の広報番組 (スマイルさっぽろリターンズ、ウォッチング札幌NEXT100)
- 8 テレビのニュース番組、情報番組
- 9 テレビCM (「札幌市は大雪時の対策を強化します」)
- 10 デジタルサイネージ (チカホ、各区役所、市電、HILOSHI、SAPPORO SNOW VISION等)
- 11 札幌市のイベント (ジモトのシゴトワク! WORK!、サッポロスマイルトーク、建設産業ふれあい展、雪と暮らすおはなし発表会)
- 12 劇場CM (上映作品「月の満ち欠け」)
- 13 その他刊行物 (啓発チラシ、パンフレット、ポスター、「さっぽろ雪の絵本」など)
- 14 見たことがない

テーマ6 さぼーとほっと基金について

札幌市のさぼーとほっと基金は、皆さまからの寄付を募り、町内会・ボランティア団体・NPOなどが行うまちづくり活動に助成することで、札幌のまちづくり活動を支えています。

【さぼーとほっと基金の特長】

- 特長1 思いにかなう寄付の行き先を選べます
寄付の際、応援したい【さぼーとほっと基金登録団体】
【活動分野】【活動テーマ】を指定することができます
- 特長2 税負担が軽減されます
法人であれば法人税が、個人であれば所得税と個人住民税が
軽減されます



問40 あなたは、さぼーとほっと基金を知っていますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- | | | |
|--------------------|---|----------------|
| 1 よく知っている | } | ⇒ 問40-1、問40-2へ |
| 2 ある程度知っている | | |
| 3 名称は知っているが内容は知らない | | |
| 4 知らない | | ⇒ 問41へ |

《問40で「1 よく知っている」、「2 ある程度知っている」、「3 名称は知っているが内容は知らない」と答えた方にお聞きします。》

問40-1 あなたが、さぼーとほっと基金を知ったきっかけは何ですか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- 1 札幌市が発行している冊子やパンフレット
- 2 札幌市公式ホームページ
- 3 さぼーとほっと基金に寄付している企業の活動を通じて
- 4 市民まちづくり活動を行っている団体から紹介された
- 5 イベントや展示など
- 6 テレビ・ラジオ・新聞
- 7 家族や知人からの口コミ
- 8 他の窓口などで紹介された
- 9 その他 ()

問40-2 あなたは、さぼーとほっと基金に寄付をしたことがありますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- 1 はい
- 2 いいえ

《皆さまにお聞きします。》

問 4 1 あなたは、今後さぽーとほっと基金に寄付をしたいと思いますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- 1 寄付したい
- 2 共感する活動・団体・テーマがあれば寄付したい
- 3 制度について理解を進めてから検討したい
- 4 寄付したくない

問 4 2 あなたが、寄付をする際に重要だと思うことは何ですか。あてはまるものに2つまで○をつけてください。

- 1 使い道の透明性が担保されている
- 2 情報発信・報告がしっかりしている
- 3 活動内容に共感できる
- 4 活動成果が具体的である
- 5 身近に活動していて親しみが持てる
- 6 寄付することで感謝状などの特典がある
- 7 その他 ()
- 8 特にない

問 4 3 あなたは、どのような寄付の方法や機会があるとよいと思いますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- 1 インターネットを介して団体の事業等を応援する寄付（クラウドファンディング）
- 2 インターネットでクリックする寄付（クリックした方に代わって協賛企業が行う寄付）
- 3 寄付付き商品の購入
- 4 その他 ()
- 5 特にない

問 4 4 あなたが寄付をしたいと思う市民まちづくり活動^{*}は以下のどのような分野・テーマの活動ですか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

^{*}市民が営利を目的とせず、市内において町内会、自治会、ボランティア団体、特定非営利活動法人等又は個人により自発的に行う公益的な活動

- 1 保健、医療、福祉の増進を図る活動
- 2 まちづくりの推進を図る活動
- 3 文化・スポーツ・観光・経済等の振興を図る活動
- 4 子どもの健全育成を図る活動
- 5 被災者支援活動（新型コロナウイルス感染症対策市民活動、その他の災害被災者支援）
- 6 寄付したいと思うが、分野・テーマにこだわらない
- 7 その他 ()
- 8 市民まちづくり活動に寄付したいと思わない

最後にあなたご自身のことについておたずねします。あてはまるものに○をつけてください。

F 1 あなたの性別は

- 1 男性 2 女性 3 その他

F 2 あなたの年齢は（令和5年6月1日現在）

- 1 18～19歳 2 20～29歳 3 30～39歳 4 40～49歳
5 50～59歳 6 60～69歳 7 70～74歳 8 75歳以上

F 3 あなたは現在何区にお住まいですか

- 1 中央区 2 北区 3 東区 4 白石区 5 厚別区
6 豊平区 7 清田区 8 南区 9 西区 10 手稲区

F 4 あなたのご職業は（もっとも近いもの1つに○をつけてください。）

- 1 会社員 2 公務員 3 自営業 4 パート・アルバイト
5 主婦・主夫 6 学生 7 無職 8 その他

F 5 あなたの同居しているご家族は（あてはまるものにいくつでも○をつけてください。）

- 1 配偶者 2 乳幼児（0～2歳程度）
3 就学前児童（3～5歳程度） 4 小学生（6～12歳程度）
5 中学生（13～15歳程度） 6 高校生（16～18歳程度）
7 大学（院）・専門学校生 8 65歳以上の高齢者
9 上記「1」～「8」以外の方 10 いない

F 6 あなたのお住まいの形態は

- 1 戸建住宅 2 集合住宅（アパート、マンション等）
3 その他（ ）

調査は以上で終了です。長時間にわたり、ご協力ありがとうございました。

記入されました市民意識調査票は、折りたたんで同封の返信用封筒に入れ、無記名のまま切手を貼らずに令和5年7月7日（金）までに、郵便ポストへ投函してください。